

宇

都宮に伝わる「きぶな」

の伝説は、最近では広く知られるようになりました。天然痘が流行した時に、黄色い鮎を食べたところ病気が治ったことから、病気よけ・無病息災のシンボルとして愛されています。

郷土玩具でもおなじみのこの「きぶな」をジュエリーにしたのが、(有)今泉貴金属です。ピンブローチとペンダントの2種類があり、いずれも18金ホワイトゴールドで作った形の上に、サファイアやガーネット、ダイヤモンドを組み合わせて「きぶな」を作っています。



宇都宮の歴史・伝統を伝える商品「きぶな」ピンブローチ(左)とペンダント(右)

います。

「普通の『きぶな』よりは、少し元気のいいデザインにしてあります。昨年6月下旬に発売を開始したのですが、おかげさまでマスクにも取り上げていただき、話題も広がっています」(今泉専務)

もちろん、ピンブローチもペンダントも、宝石を使った商品ですから、決して安いものではありませんが、できるだけ多くの人に気に入ってもらえるように、価格を下げていますと今泉専務は言います。

「地域の伝統的な文化を形にしたのは、ひとつには多くの人に宇都宮の良さを感じて欲しいから。また、宇都宮を離れる人に身に付けていただいて、外で宇都宮をアピールして欲しいとも、願っています」

実際、購入されたお客様から「つけていると話題の糸口になる」などの反

CSRで輝く会社

第13回 有限会社 今泉貴金属

「ビジネスを通じて、地域の伝統と文化を伝えるお手伝いを」

CSR活動に取り組む宇都宮市内の企業をご紹介します、本コーナー。今回は「宝石・貴金属イマイズミ」で知られる(有)今泉貴金属の今泉一専務に、同店の取り組みをうかがいました。



専務取締役 今泉 一 氏

応も、数多く寄せられているそうです。

最近ではインターネットで見ても、県外から買いに来てくれる人も増えたとのこと。「宇都宮の文化がそうやってどんどん広まっていくと、うれしいですね」と今泉専務も笑顔を見せます。

同社では地域活動にも力を注いでいます。「うちは創業90年で、ずっと地元で商売をさせていただきましたから、地域活動もきちんとやらなくては」と、三代目としての顔ものぞかせる今泉専務。当所青年部でも活躍しています。

「みんなが宇都宮をテーマに商品開発をすれば、宇都宮の魅力はすいぶん広がると思います。歴史も伝統もたくさんある街ですから、それを発掘し発表する

努力をすることが大切ではないかと考えています」

小さなお店でもでき、ビジネスにもつながる。そんなCSRの考え方のひとつを、同社は実践しています。



宝石・貴金属イマイズミ

有限会社今泉貴金属
代表取締役 今泉臣夫

◎設立 大正9年
◎業種 宝石・貴金属販売
(本社) 〒320-0023
栃木県宇都宮市仲町1-13
☎ 622-3573
<http://www.imaizumi-j.com>